

新役員あいさつ

う食の安全性を追及し、らでいっしゅぼーやが会員の皆さまへ細かな情報を分かりやすくお伝えできるように、私達生産者・メーカーの団体、Radixの会がお役に立てると思っております。

Radixの会311団体が力を合わせ、今以上の知恵と技術の向上をはかり、美味しさに安全性と信頼をいただけるよう精一杯活動して参ります。

成長・進化していく力の予感 新・幹事 (畜産肉鶏分科会) 中村 孝治 (共栄ファーム)

早春の息吹を感じる活気に満ち、新鮮で希望を抱かせる大成功の総会、そして参加者の一人一人が、誇りある匠の集団である自覚を再確認した総会であったと思います。

この熱気『気』を感じたのは私だけではなかったはず。私は、このRadixの会の匠の集団の一人として、この軸（和）の中にいる自分という個が大河の流れの一滴として技術のみならず、人間としてお互いに切磋琢磨し成長・進化していく力の予感を強く感じました。

総会の次の懇親会では、盛り上がりはピークに達しました。殊に今回、らでいっしゅぼーやの社長はじめ幹部の人たちが皆の車座の輪の中に次々と入り、現場の声を聞かれる真摯な姿に、参加した全員が感動を覚えたと思います。「我々は仲間だ」と意気に感じ、共に生きていこうと決心したのは私だけではなかったと確信します。

総会の進行、演出は見事であり、時間をかけて準備して下さったらでいっしゅぼーやとRadixのスタッフの人達に心から感謝致します。

私はこの仲間となら未来は明るいと思われ、帰路につきました。

思いを同じにする皆様と共に 新・幹事(加工食品) 河野光枝 ((株)八木澤商店)

熱気溢れるRadix 総会及び懇親会でした。大成功おめでとうございます。実行委員さんありがとうございました。らでいっしゅぼーやならではのですね。

今の日本は、命の源である食品において様々な問題が出てきて、一般の消費者は疑ったり、怒ったり、不安に思ったり、混乱しているようです。でもそれは、食について真剣に考えてこなかった日本の在り方が今問われているような気がします。

突然噴出する問題に感情的になるのではなく、5年10年先の日本の農業を考え、減反させながらどんどん食糧を輸入しゴミを出していることに疑問を感じる人が増えて欲しいと思っております。

その点、らでいっしゅぼーやの会員さんは、様々な情報を『お話しサラダ』などで伝えられ、冷静な判断をしているのではないのでしょうか。会員さんが増え、食について思いを同じにする生産者のRadixの会がますます充実し、らでいっしゅぼーやとともに発展していくよう微力ながら努力してまいります。

Radixの会は いよいよ真価を！ 新・幹事(食品)

平田 繁實(平田産業(有))

Radixの会会員の皆さん、2月22日総会及び懇親会が無事盛会にて終了しましたことを心より喜び申し上げます。

この度、加工食品グループ幹事として新しく就任いたしました菜種油生産者「平田産業有限公司」の平田繁實です。緒方相談役、五月女新会長のごあいさつ内容でお分かりと思いますが、新しいらでいっしゅぼーやと私達

“Radixの会”の関係はいよいよ重要度を増し、不動の信頼を構築し、らでいっしゅぼーや会員や社会に対して大きな責任を持つことが今まで以上に望まれています。

昨今の社会経済状況は、個々の力で諸問題に対応することに限界を感じるようになってきました。投資チャンスもなかなか見出すことが出来ません。私達Radixの会会員は、この時代をどのように乗り越えるのか、いよいよ真価を問われるでしょう。今こそらでいっしゅぼーやという素晴らしいプラットフォーム(資産)を“Radixの会”会員各位と英知パワーで活用し合い拡大させましょう。そしてひいては生産現場の活性化を実施・進化させ、連体し協同協労のパートナーシップを確立し難局を打破して行きましょう!

健全な発展を

新・幹事(食品)

川合 正憲 (内浦漁業協同組合)

雪印の食中毒騒動以来深刻な事故やささいな異物混入・表示の誤記入など、食べ物としての危険性の高さにかわりなく回収・破棄することが当たり前になりつつある。食物は多くの規格・規準で守られた完全に安全なものでなくてはならないという考えが共通のコンセプトになりつつあるせいかと思われる。

日本は世界で唯一猛毒な魚フグを食べる。古来より死の危険を冒しながら時の為政者に時折禁止されながらも食べ続けられてきた。またフグほどではないものの“当たる”というリスクをかかえながら食べ続けられているものにサバ・カタクチイワシなどの刺身がある。アニサキスという寄生虫が胃壁に食いつき激しい腹痛を引き起こす、いわゆる“当たる”ののだが、旨い物を食べたいという欲求から昔からそのリスクを冒してまで食べ続けられてきた。本来日本人は